

人からはじまる経済再生

よく「立憲民主党は、社会政策は強いけど経済政策が見えない」と言われることがあります。そこで、わが党の経済政策の基本的な考え方をまとめて欲しいと泉代表から指示があり、政調会長代理である私が中心となってまとめたのが、「立憲民主党は日本を伸ばす『経済政策』人からはじまる経済再生」です。

この30年、諸外国の実質賃金は上昇しているのに日本だけが上がっていないことがすべてを象徴しています。そこで、我々は経済政策の目標に「物価を上回る年収アップ」を明確に掲げました。

そのために必要な「人からはじまる経済再生」は、次の3本の柱からなります。

第1の柱は、稼ぐ力、生産性をアップさせるため、「人を伸ばす」。これまでの政治は人を粗末にしすぎました。多様性をチカラに変え、徹底した人への投資によって、一人ひとりの持ち味が活きる社会をつくります。例えば、職業訓練への公的支出の対GDP比はフランス0.3%に対して日本はわずか0.01%であり、大幅に引き上げる必要があります。

第2の柱は、供給力アップのため「産業を伸ばす」。10年後の日本の「飯のタネ」をつくるため、グリーン（Green）、ライフ（Life）、ローカル（Local）、デジタル（Digital）の分野に大胆な投資を行います。加えて、研究開発費を大幅に引き上げ新産業の創出を支援します。特に、脱炭素というピンチをチャンスに変えるため省エネ・再エネを徹底的に推進します。食料・エネルギーの自給率の向上は、国富流出の防止、経済安全保障の観点からも重要です。

第3の柱は、需要アップのため「消費を伸ばす」。GDPの約6割を個人消費が占めていることから、格差を是正し、安心に基づく確かな消費の基盤を整えます。そのために、医療、介護、子育てなどのベーシックサービスの充実を図り、生活コストを下げて可処分所得を増やします。また、所得再配分機能を強化するための税制改正、短期主義経営の見直しやコーポレートガバナンス改革により、手取りを増やします。働く人が報われる、まっとうな経済を取り戻す。「人からはじまる経済再生」こそが、私たちの処方箋です。

日本を伸ばすために掲げる目標

物価を上回る 年収アップ

当面の目標として、3%の名目賃金上昇率の実現。

「人からはじまる経済再生」

基本戦略

他の先進国に比べて日本が手薄になっている「人への投資」を伸ばし、一人ひとりの持ち味が活きる社会を創造する。同時に、思い切った重点投資でGLLD分野を伸ばし、世界をリードする日本の「飯のタネ」を作り上げる。そして、セーフティネットの整備とフェアな分配・再分配により「安心」を確保し、幅広く消費を伸ばす

「人」を伸ばす 稼ぐ力アップ	「産業」を伸ばす 供給力アップ	「消費」を伸ばす 需要アップ
<p>徹底した人への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学びなおし、リスキリング支援 ●教育の無償化（大学・給食など） ●最大賃金1500円 ●非正規雇用の処遇格差是正 ●就職氷河期世代の就労支援 ●産休・育休、有給休暇の取得促進 	<p>10年後の日本の「飯のタネ」をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界一の自然エネルギー立国へ ●大規模投資で年間50兆円の経済効果実現 ●創業・バイオ・ゲノム医療を大規模に推進 ●農業、観光、自然エネルギーで豊かな地域経済の基盤を整備 ●官民のデジタル化を協力的に推進 	<p>セーフティネットの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ベーシックサービスの質・量を充実 ●フェアな分配・再分配を成長の基盤に ●所得税・相続税・贈与税等の累進性の強化 ●金融所得課税は累進税率を導入（中長期的に総合課税化） ●消費税還付制度（給付付き税額控除）の導入

LINE 公式アカウント

profile

- ▶昭和46年4月13日生まれ
- ▶京都大学 法学部卒
- ▶参議院事務局、外務省、政策秘書を経て09年初当選、以来、連続5期当選
- ▶党務では、選対委員長、青年局長などを歴任
- ▶現在は政務調査会会長代理（兼筆代理）次の内閣 NC ネクスト内閣官房副長官

オニケンお勧めの漫画

マンガ、アニメは日本文化です。私は、少年時代には、あまりマンガを読む方ではなかったのですが、そんな私もはまって全巻読んだ大人が読んで面白いマンガを紹介します。

- 1 ゴールデンカムイ**
北海道・樺太を舞台とした金塊をめぐるサバイバルバトル漫画。作中では、アイヌの文化が豊富に描写・紹介されていて大変興味深い。
- 2 三国志**
「バビロン2世」や「魔法使いサリー」の原作者、横山光輝先生の代表作。中学生の時、友達同士で回し読みしました。
- 3 昭和元禄落語心中**
八雲と助六という対照的な名人を軸に人間模様を描く。これを読むと、きっと落語に興味やわき寄席に行きたくなくなります。
- 4 首斬り朝**
江戸時代の死刑執行人・公儀お様（ため）し役山田朝右衛門を主人公にした劇画。江戸の市井の人々の姿とともに犯事を犯すに到った人生ドラマを描くおとな向け作品。
- 5 キングダム**
史実をモチーフに、始皇帝とそれを支える武将李信の活躍を描いた作品。王騎將軍が信を馬に乗せ「目にするモノをよく見てみなさい。敵の群れを。敵の顔を。そして味方の顔を。天を地を。これが『將軍』の見る景色です。」と言うのが私の選ぶ名場面です。

オニケン NIKEN PRESS

愛知13区版 号外 2024.1 立憲民主 RIKKEN MINSHU

令和6年・2024年 甲辰（きのえたつ）

竜、龍は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、ダイナミックな変化を期待したいと思います。悪い流れをツツつ、目標をツツ成する一年にしましょう！

令和6年が皆さまでとって、「昇竜」の勢いの年となります。ことを「祈念申し上げます。」

衆議院議員 **おおにし健介**

LINE 公式アカウント

「田中角栄がいま、首相だったら」

12月16日は、田中角栄元首相の没後30年にあたります。子高齢化に加えて新型コロナウイルスのパンデミックを経た社会情勢の変化、ウクライナ危機による国際環境の激変と多くの課題が目に見える中、構想力と行動力をあわせ持つ政治家の不在に国民は大きな閉塞感を抱いています。「失われた30年」を経て、「田中角栄がいま、首相だったら」という著書が出版されるなど、いま再び、田中角栄元首相への関心が高まっています。私の好きな田中角栄氏の言葉に次のようなものがあります。「政治とは生活だ。国民が働く場所を用意して、三度三度メシを食べてもらう。外国と喧嘩せず、島国で豊かに暮らしてもらう。それが政治だよ」

かつて、自民党の主流派は、派閥パーティーの件で問題となっている清和研・安倍派ではなく、ハト派の田中派と宏池会でした。そして、岸田首相は、宏池会出身の30年ぶりの首相です。しかし、岸田首相は、防衛費の増税を行うなど安倍・菅路線を踏襲しています。田中元首相は、ロッキード事件のような「金権政治」という負の側面を持つ反面、「何をしたいのか分からない」と言われる岸田首相と違い、「日本列島改造論」に代表される国土ビジョンを提唱し、独自の資源外交を展開し、日本の進むべき道を示し国民を導きました。実は、わが党には、小沢一郎先生、中村喜四郎先生など田中角栄元首相に直接薫陶を受けた議員が在籍しており、「保守本流」の中心にあった田中派のDNAは自民党ではなくこちらに受け継がれているとも言えます。自民党政治が再び機能不全となる中、政権を経験した議員も多く残っているわが党こそが核となり野党に政権の受け皿をつくらねばなりません。年末から年始にかけて、自民派閥パーティー券疑惑は「令和のリクルート事件」とも言うべき大疑獄事件へと発展する可能性も出てきました。小泉長期政権の後、安倍首相、福田首相と1年で政権を投げ出し、麻生政権の「追い込まれ解散」で2009年の政権交代が起きました。安倍長期政権の後、菅氏は1年で政権を投げ出し、岸田政権の支持率は「危険水域」となっています。「政権交代前夜に似てきている」という人もいます。2012年の自民党の政権復帰から10年が経った2022年に安倍首相銃撃が起きて以降、朝日は変わりました。今こそ自民党政治に代わる選択肢を示す時です。令和6年は激動の年となるかもしれません。

EVシフトの現場を見る

(3)

私は、「現地・現物・現認」を重視しています。そこで、9月に、岐阜県瑞浪市にある廃校となった中学校の校舎を利用してテスラやBYDのEVを解体して部品を展示している施設を視察しました。そこでは、部品を手取るだけでなく、実際の車両の運転席に座ることもできます。

私は、技術的な知識はないので、個々の部品を見てもよく分かりません。しかし、案内してくれた人がインバーターの基盤を手に取り、「これ何の形が分かりますか。アメリカ大陸です。単なる遊び心でやっているのです。彼らにはそれだけの余裕があるのです。」というのを聞いた時には背筋が寒くなりました。

この施設を運営しているのは、ベンチマーキング・ソリューション・プロバイダーと呼ばれる会社で、クルマをCTスキャンして縦横方向に輪切りして取り出したデータを提供するサービスをしています。ライバル企業の新車をスキャンすれば、ほぼ1週間で設計構造から使用している素材まで丸裸にでき、そのデータを活用して新車設計を行えば大幅に開発期間を短縮できます。テスラが新しい工法や素材を導入すると、中国のEVメーカーは、このデジタル技術を活用したリバースエンジニアリングにより、すぐに同じような手法を採り入れられる体制になっているそうです。それに対して、日本では、熟練工のような匠の技を重視するあまり、最新鋭のデジタルツールで効率的にモノづくりを進める手法では遅れをとっているとの指摘があります。

また、展示場には、テスラのモデルYの車体の後部を縦に切ったものも展示されていました。溶かしたアルミ合金を大きな金型に流し込んで一体成型するギガキャスト（ギガプレス）を使えば、部品や工程の数を劇的に減らすことができ、軽量化をはかることができます。一方で部品点数や工数が減ることで地域の雇用への影響が懸念されます。

さらに、実際のEVの運転席にも座ってみました。スイッチやシフトレバーがなく、タブレットのような画面を使い操作し、スマートキーの代わりにスマホを使う最新のEVは、自動車と言うより「走るパソコン」といった感じです。

EV化は、単に内燃機関がなくなるという単純な話ではなく、製造工程や関連企業を含む産業構造に大きな影響を及ぼすものであることを改めて認識する必要があります。

ちなみに、10月には、「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」を直嶋元経産相、馬淵元国交相、浜口参議院議員とともに視察し、クルマの未来を感じてきました。



現場



「議員外交」は国会議員の本分 ～日・EU議員会議と日韓議員連盟～

外交



国会議員である以上、各国の国民の代表である議員同士が交流し議論し互いに理解を深めることはとても大切です。自民党女性局の一行がパリでエッフェル塔のポーズをして写真を撮りSNSにアップしたことが批判を浴びたことで、議員の海外渡航は全て無駄かのように世間に受けとめられてしまったことは残念です。

私は7月に超党派派遣団の一員として仏ストラスブールでの日・EU議員会議に出席し、世界的なインフレへの対応に関する日・EU間の協力についてスピーチを行い、ウクライナ情勢、EUにおけるEV化の動向や生成AIの使用をめぐるルールづくりなどについて意見交換を行いました。

また、2日間の会議の後、ポーランドに移動し、ウクライナからの避難民と会い、直接お話を聞くことができました。2008年のロシアのジョージア侵攻の際、故カチンスキ元大統領は「今日はジョージア、明日はウクライナ、明後日はバルト三国、さらに次はポーランドかもしれない」と述べていました。さらに、ポーランドは2014年のクリミア侵攻の時も警鐘を鳴らしていました。欧州の東方シフトにより、安全保障面でも経済的にもポーランドの重要性は増しており、外交上の戦略的地域として我が国もポーランドをもっと重視すべきです。ウクライナ戦争とその影響について、生の情報を得ることができたことは有意義でした。

さらに、9月には、東京で行われた日韓・韓日議員連盟の総会において、私は、総合司会を務めるとともに、6つの分科会の一つである未来委員会の委員長を務めました。

尹政権になって日韓関係は改善の方向に向かっていますが、歴史問題やALPS処理水の海洋放出など課題もあります。私が担当した委員会の討議でも、処理水や日韓歴史教科書の問題について微妙な議論がありましたが、お互いに言いたいことを言わずに黙っているよりも思っていることを言い合う方がむしろ関係が深まるということを実感できました。

日韓両国の若者は、K-POPやアニメなど互いの文化に強い関心を持っており、両国の緊密な関係は互いに経済的利益があることを知っています。また、日米韓3ヶ国の緊密な連携は東アジアの平和と安定の要です。

私は、かつて外務省北東アジア課で仕事をしてきたため、初当選以来、日韓議連に入って活動をしています。韓国側の運営委員長を務める金學容議員とは、私の地元、安城市と漢字で書くと同じ京畿道の安城市（アンソン市）選出ということもあり、長年、友情を温めています。

予算委員会、「国会中継」 ガソリン高対策、派閥政治をたたく

(2)

国会

11月21日、予算委員会での補正審議の1日目、泉代表に続いて質問に立ちました。

まず、「賃上げ促進環境整備対応」予備費の矛盾、ガソリン価格高騰に対する激変緩和措置について質問しました。

物価高の中でも特にガソリン価格の高騰が国民生活を圧迫しています。価格上昇のかなりの部分は円安に起因しており、現在の石油元売り大手に補助金を支給するというやり方で十分な価格抑制効果があるのか不透明です。だらだらと補助を延長することは、わが国の国富の海外への流出になりかねません。少なくとも措置の延長にあたっては、「中抜き」がないのかを含む十分な検証が必要です。

検証についても、62億円かけて行っているモニタリング業務が資源エネルギー庁の石油製品小売市況調査とダブっており、無駄遣いになっています。

我々がずっと主張しているように、「トリガー条項」を発動して、本来の税率より25.1円分上乗せされているガソリン税を引き下げることが透明性が高いのは明らかです。さらに言えば、この機会にガソリン税に上乗せされ続けている「当分の間税率」を廃止するとともに、ガソリン税に消費税が課税されている「Tax on Tax」という不可解な仕組みを解消すべきです。

次に、自民党の主要派閥がパーティー収入を収支報告書に記載していなかった問題についても追及しました。総額4千万円を超える多数の不記載は、単なる不注意とは考えられず、訂正すれば済む話ではなく、国民に対する丁寧な説明が必須です。ちなみに、千葉5区の藺浦健太郎氏は、同様の事案で議員辞職し、有罪・公民権停止となっています。

また、岸田首相は、現在も宏池政策研究会の会長を務めており、東京地検に提出された告発状では被告発人となっています。菅前首相は、「総理大臣は国民全体の先頭に立って汗を流す立場にある。歴代の総理大臣の多くは所属する派閥を出て務めていたのではないかと述べ、岸田首相が派閥の会長を続けていることに苦言を呈していました。首相が派閥の会長として「カネ集め」をしているのはおかしいと思います。私は、岸田首相に派閥会長を辞めるよう求めました。

その後の東京地検特捜部の捜査により、パーティー券の販売ノルマを超えて集めた収入分のキックバックを受け「裏金」にしていた疑いのある議員が最大派閥・安倍派では閣僚含め多数にのぼると言われており、リクルート事件以来の政治スキャンダルになる可能性も出てきました。

さらに、岸田内閣では、2か月のうちに副大臣、政務官が立て続けに辞任するということがありました。特に、「税を考える週間」の期間中に、税理士でもある神田財務副大臣が税の滞納が理由で事実上更迭されたのは「不適材不適所」の極みです。これも、派閥の人事要望をそのまま受け入れ、露骨な順送り人事を行った結果であり、派閥政治の弊害と言えます。



碧海5市の今年の動き

安城

アイシンの安城工場は2024年9月までに榎前工業地区に移転する予定です。跡地には、プロバスケットボールチーム「シーホース三河」の本拠地となるアリーナが建設予定です。アリーナを地域交流拠点とした三河安城駅周辺のまちづくりをしっかりとあと押ししていきます。

刈谷

県内初となる併設型中高一貫校の一つに選ばれた刈谷高校で初めてとなる入学生徒の選考が2024年度に行われる予定です。刈谷高校は100年以上の歴史を誇る西三河を代表する名門校ですが、刈谷中学でチェンジ・メーカーを育成するとしており注目です。

碧南

碧南では4月に市長選挙・市議会議員選挙が予定されています。現在4期目の現職市長の動向や新人の立候補に向けた動きに注目です。

知立

知立駅付近連続立体交差事業にともない、三河線の三河知立駅を現在の位置から竜北中学校付近へ移設されます。完成時期は5年遅れ2028年となりましたが、総事業費の約半分を負担する国としてもしっかりと支えています。

高浜

高浜市出身の岩井俊介投手が名城大学からドラフト2位でソフトバンク・ホークスに入団。高浜港小時代にラビットボーイズで野球を始め、高浜南中時代は愛知刈谷ボーイズでプレーしていました。最速156キロの速球と多彩な変化球で、今年はプロでの活躍が期待されます。

